



1916 モデルT ツーリングカー



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー /フィールドボディカンパニー
組付工場	ミシガン州のハイランドパークのフォードハイランド パーク工場、(子会社工場)
モデル生産量	363,024
総生産量	501,462 (完成車)
馬力	20
重量	1,500ポンド/ 680キログラム
当時売価	\$440 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

通気口のためのルーバー付きのボンネット
ヘッドライトとコーチランプの黄銅トリムが撤去
モデルTブラス時代最後の車
1915年に比べ50ドルの値下げ

最後のモデルTと黄銅

1916年のモデルTは1915年のモデルTに非常によく似ています。この期間、第一次世界大戦により世界中で黄銅の入手が困難になりました。1916年のモデルTでは、ヘッドライトの黄銅のリングと灯油のコーチのランプは、黄銅で作られたラジエーターだけを残して塗装された黒いスチールのリングで置き換えられました。しかし1917年のモデルでは、遂にラジエーターにも黄銅を使わなくなりました。また、第一次世界大戦では20,700台以上のモデルTが軍用救急車に転換されて使われました。そしてフォード社は1916年8月に、1916年のモデルT購入者に対しその年に300,000台の車両を販売した場合、50ドルの払い戻しをすると発表しました。これが良い刺激となり、この年実際に目標であった300,000台の販売台数に達することに成功しました。